

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点⑥1〉

三郷学の実践

46. 子どもは三郷の宝・子育て街(タウン)三郷!

「子どもは社会の宝」といわれますが、三郷市においても「子どもは地域の宝」であり、次世代の社会を担う子どもが健やかに成長できるまちづくりをめざしています。

三郷市では、平成8年以降人口の減少が続いていましたが、平成17年8月のつくばエクスプレス開業を契機に人口が増加に転じ、平成17年には0歳から5歳までの人口は6,700人であったのが、平成26年には7,134人となり

約7%増となっています。これは、若い子育て家庭の転入増加やコンスタントにおよそ月100人の出生があることによるものです。そのため、子育て支援の需要も高まっています。



三郷市では、「みさとこどもにここプラン」(計画期間:平成27年度から31年度)に基づき、17の保育所、3か所の認定こども園、幼児教育は10の幼稚園、その他、2か所の子育て支援センター、7か所のつどいの広場など公立と民間が共にそれぞれの特性を活かしながら、子どもたちの健やかな成長を支援しています。